

開腹バイパス手術を受けられる 様へ

説明医師
説明看護師(外来)
看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	手術前日	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目
目標	体調を整え手術に のぞめる	安心して手術が 受けられる	術後の痛みや不快を 伝えられる	術後合併症起さない 水分を摂取できる 食事が摂取できる 看護師の付き添いで 歩行ができる
検査				胸腹部 レントゲン 血液検査
食事	絶食			水分のみ可 (医師の指示による)
処置・観察	リストバンドを 装着します (退院日まで装着しま す) 臍処置します (シャワー浴前)	時間になれば 看護師が 手術室に ご案内します	手術後以下の挿入物、装着物があります ・酸素マスク※翌日まで ・心電図モニター※翌日まで ・点滴の管 ・創部の管(ドレーン) ・背中チューブ(鎮痛剤) ・尿道カテーテル ・フットポンプ(血栓予防)※翌日まで 創部の観察をします	手術創の確認をしま す 取り外します (2~3日目) 取り外します (術後2~3日目)
1日3回あるいは時間毎に、体温・脈拍・血圧の測定をします				
注射・内服	持参薬、お薬手帳 を看護師にお渡 しください		以下の点滴を 行います ・持続点滴 ・抗生剤 背中から入れた チューブから 鎮痛剤を持続 投与します	血栓予防の 薬剤を皮下注射 します(22時) 10時と22時に 投与します
行動	シャワー浴を してください 制限ありません	以下の手術 準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング 装着 ・入れ歯、 アクセサリ、 時計等の取り外し	翌朝まで ベッド上安静 です	歩行可と なります (最初の離床は看護師と 一緒に行います) 看護師が 体を拭きます 手術着から 寝巻きに 着替えます
説明	医師・麻酔科医より(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について 病棟・手術室看護師より ・入院生活について ・手術について 薬剤師より説明 ・使用薬剤について ・持参薬確認	医師より説明 ・手術結果に ついて 看護師より説明 ・術後の注意点に ついて ・安静について ・痛み止めの使用 方法について		栄養士より説明 ・栄養相談 (術後2日目頃) 病室にて

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日	月 月 日 ~	月 日	
経過	術後 3 日目	術後 4 日目	術後 5 日目	術後 6~10 日目	術後 11 日目 (退院)	
目標	術後合併症を起こさない 食事摂取ができる 栄養摂取障害の症状・所見がない				退院後の生活について不安な事を伝えられる	
検査	胸腹部のレントゲンと 血液検査	必要時、胸腹部のレントゲンと血液検査実施 				
食事	分割食 (流動食)	分割食 (3 分かゆ)	分割食 (5 分かゆ)	分割食 (全かゆ)	朝食後退院	
処置・観察	以下の挿入物があります ・創部の管 (ドレーン) → 取り外します (4~5 日目) ・点滴の管 →			点滴終了次第 取り外します	退院時、リストバンドを外します	
	1 日 3 回あるいは 2 回、体温・脈拍・血圧の測定をします					
注射・内服	引き続き点滴があります			6 日目で点滴が終了します		
行動		お腹の管が抜け、体調がよければシャワー浴できます (4 日目以後) ※週 3 回、病棟毎で日が異なります				
説明				術後 7 日目 栄養士より説明 ・栄養相談 (栄養相談室にて)	医師より説明 ・退院後の治療計画、療養上の留意点について 看護師より説明 ・退院後の療養生活について (退院療養計画書をお渡しします) ・次回外来受診について	

